

事業所名

フリースマイル大府

支援プログラム

作成日

2024年

7月

23日

法人（事業所）理念		ひとりひとりが自立した社会人になる。本人だけではなく、家族もともに笑顔になる支援を心掛ける。		
支援方針		ソーシャルスキルトレーニングを基本とし、本人の意思を尊重し、スモールステップから成功体験を積む。少しずつ出来ることを増やし、自立した社会人になるよう、支援者が一人一人がサポートをする。本児、家族、支援者全員がともに歩み、全員が笑顔で過ごすことが出来るようサポートする。		
営業時間		学校開校日10：30～19：30、学校休校日9：00～18：00	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人 支 援	健康・生活	◆健康状態の維持・管理・改善、生活リズムや生活習慣の形成<健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援する。また、健康状態の常なるチェックと必要な対応を行う。その際、意思表示が困難である利用者の障がい特性及び発達過程や特性に配慮し、小さなサインから心身の異変に気付けるよう、きめ細やかな観察を行う。その他、身の回りを清潔にし、食事、衣服の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能を習得できるよう支援する。>		
	運動・感覚	◆姿勢と運動・動作の基本的技能の向上、保有する感覚の総合的な活用<日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動、動作の改善及び習得、筋力の維持、強化を図る。ストレッチ、ラジオ体操、バランスボール、感覚統合運動や指先の運動等、集団での運動や個々のスキルに応じた運動・動作の支援を行う。また保有する視覚・聴覚・触覚などの感覚を十分活用できるよう遊び等を通して支援する。イヤーマフ等の感覚過敏用の器具を配備する。>		
	認知・行動	◆認知の発達と行動の習得、空間・時間・数等の概念形成の習得、外部環境の適切な認知と適切な行動の習得<天気、気温、日付の把握と確認（感覚、数の認知形成）。一日のタイムテーブルの把握と確認（時間の認知形成）。粘土、スライムによる遊び（物質の変化感覚の認知形成）。ブロック遊び（空間把握の認知形成）。小集団でのゲーム（ルールの認知形成）。散歩や公園などの外出（季節の変化や気温の変化に対応する適切な衣服選択等の認知形成）。>		
	言語 コミュニケーション	◆言語の形成と活用。コミュニケーションの基本的能力の向上。コミュニケーション手段の選択と活用<具体的な事象や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援（終わりの会で気持ちを話す等）。人との相互作用によるコミュニケーション能力の向上（絵カードを用いて感情を相手に伝える、小集団でのルールに基づいた遊びの共有）。指差し、身振り、サイン等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する。>		
	人間関係 社会性	◆自己の理解、他者との関わり（人間関係の形成）、仲間づくりと集団参加<面談で自尊心を高める（アタッチメント形成）。遊びを通じて人の動きを模範することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援する（模範行動の支援）。一人遊びから並行遊びに興味を誘い、支援者が介入しての小集団活動を行う（集団参加）。役割分担をする作業や集団活動を通じて、社会参加への楽しさを伝える。>		
家族支援		◆家族の体調について情報を得ることで、利用者への体調管理へ繋げる。保護者とコミュニケーションを重ね、家族を含め一貫した支援体制を構築する。また保護者の悩みを聞く相手となり、保護者の精神的な負担の軽減を図る。	移行支援	◆適齢期に差し掛かった利用者へ、就労に向けた取り組みや就労支援事業所への定期的な体験を図り、卒業後に向けた支援を実施する。
地域支援・地域連携		◆地域での催しに参加することや、ごみ拾いなどの行事に参加し、地域社会との繋がりを構築する。また相談支援事業所や発達支援室等の機関とは日頃から連携を取り、関係性を構築する。	職員の質の向上	◆事業内・事業所外研修を行い、支援の向上に努める。研修費用を会社負担にすることや、OJTとする制度を活用し、研修に組みやすい職場環境を構築する。
主な行事等		◆1月<神社参拝>、2月<バレンタインおかし作り、避難訓練>、3月<お別れ会、遊園地遠足>、4月、<お花見遠足>、5月<トランポリンハウス、合同運動会>、6月<動物園遠足>、7月、8月<プール遊び>、9月<カレーライス作り、避難訓練>、10月<ハロウィン制作>、11月<合同運動会>、12月<クリスマス会>等		